



Stranger

星野源

自分がしていることは今本当にすべきことなのか不安になる。あの時の自分の選択は正しかったのだろうかと思ひ返る。自分は将来どこで何をしているのだろうかと思う。考えても答えは出ないことだとわかっていても考えてしまう。誰しも一度はそんな経験があるのではないだろうか。

今回紹介する星野源の『Stranger』は、そんな迷いを断ち切るヒントを与えてくれるかもしれない。Strangerという言葉には本来「迷子」という意味はない。だが、アルバムを聴いていると、迷っている人に聴いてもらえるように願って、このタイトルをつけたのではないかと思えてくる。

星野源という名前を聞いたことがある人はどれくらいいるだろうか。星野源は、俳優、文筆家としての活動をしつつ、ミュージシャンとしても活動している多才な人物だ。そんな彼が織りなすこのアルバムの魅力は、落ち着いた深い声で歌い上げられる、飾り気のない前向きな歌詞だ。多様なジャンルに飛び込んで自分を表現している彼らしい言葉が歌の中に散りばめられている。

どうせなら 作れ作れ
目の前の景色を [フィルム]

決してもう二度と戻らぬ日が
いつまでも輝けばいいな [生まれ変わり]

やるべきことにとらわれていると、自分が本当にやりたいことを見失ってしまう。だから、あとで振り返ってみた時に良かったなと思えるように、今やりたいことをやってもいいんじゃないかと彼が背中を押してくれている。

どこに行くのか わからないのは
僕も同じさ 僕も同じさ [ある車掌]

彼はアルバムをこう締めくくっている。そこには、日々を過ごしていった先で自分がどうなっているかわからないけれど、それでも進んでいこう、そんな前向きなメッセージが込められている。

『Stranger』は道に迷ったり前に進むのに疲れたりした時に聴いてほしい、そんなアルバムである。星野源の紡いだ歌詞があなたの日々にそっと寄り添ってくれるだろう。そして、一步一步歩いていけばいい。

『Stranger』 星野源



発売元：ビクタースピードスター
発売日：2013年5月1日
VICL-63996 ¥3,024 (税込)

01. 化物
02. ワークソング
03. 夢の外へ
04. フィルム
05. ツアー
06. スカート
07. 生まれ変わり
08. パロディ
09. 季節
10. レコードノイズ
11. 知らない
12. ある車掌

はみだし
すてーじ

留年しない (決意)
⇒時は流れて留まる場所を知らません

(文・4 ししゃも)
(きつとうまくいきますよ;編)